



No.103

# 窓の市政

## 「改元の年を振り返る」

今年も平成31年と令和元年という二つの年を体験するという貴重な年でありましたが、月日の経つのも早いもので、カレンダーも残り1枚となりました。

一年間を通し国民の祝意の中、天皇陛下の御即位の儀式から大嘗祭に至るまでさまざまな行事が執り行われました。

9月から10月にかけては、本市を含め千葉県は度重なる台風などの襲来により、自然災害受難の年になってしまいました。

11月に鹿児島県霧島市で「防災とコミュニティ」をテーマに開催

された「全国都市問題会議」に参加した際にタクシーの運転手さんから「お客様はどこから?」との問いに「千葉県から」と答えると、すぐさま「今年

の千葉県にはお見舞い申し上げます。九州・鹿児島では毎年台風被害にあっていました。今年も千葉県のコースがすべて関東地方へと変わったために大きな被害はまぬがれました」とのことでした。

思えば昨年までの千葉県は、気候温暖・環境良好・災害の無い全国一安全で住み良い県であると自負しておりましたが、今年は一変して台風銀座になった感があり、来年以降も台風のコースが千葉県を含め東日本に多く上陸するのではと危惧を

しております。

いまだ復旧・復興の道半ばですが、今回の教訓を踏まえ、対応策に取り組んでいるところでもあります。

12月は下旬まで定例市議会が予定されています。スケジュールを調整し、サンタクロースに扮して保育所や幼稚園を訪れ、子どもたちの健やかな成長を願いながらクリスマス行事を盛り上げることは、私の楽しみの一つでもあります。

そして年末は何かと気忙しくまた忙しい時期でありますので、市民の皆様も交通事故や火の元などには十分気を付けていただき、ご家族おそろいで新年を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。

匝瑳市長 太田安規

### 内山を歩く

## 内山の古木

匝瑳探訪 163

豊和地区内山に古木があると聞き、見に行きました。竹林に囲まれた屋敷の奥の小高い場所があり、周囲から見ることが難しい状態にあるのが惜しまれます。

縄文時代の湖沼群が残る栗山川中流域や市内中央地区米倉から須賀地区にかけての水田の中から丸木舟が出土している、樫を材料としたものも含まれます。木の太さから古代人も自分の丸太をくりぬいて造ったものか、と想像が膨らみます。

内山の古木に関し、もう一つ思い出されるのが「杉の大木」です。

文芸評論家・小説家の故・臼井吉見氏が、戦時中、内山の妙典寺を宿営地に生活した体験を1952(昭和27)年6月『伐木隊長手記』に記しました。その中に、内山の家を囲むように先祖代々の霊が宿っているような木を切り倒す瞬間、70歳ぐらいの老主人が「両手で顔を掩い、体を震わせながら異様な呻きを発した」様子が出てきます。

このことを知ってから40年ほどの間に、臼井氏が妙典寺を再訪したこと、寄宿した兵隊のこと、声を詰まらせ

泣いた山の所有者のすることなどを聞き取ることができました。

内山集落で杉の大木を目にすると、このことがいつも思い出されます。

(市文化財審議会委員・依知川雅一) 岡秘書課広報広聴班 ☎73・0080



豊和地区(内山)の古木

# 文芸コーナー

## 短歌

小泉泰清 推薦

常陸の地群れ咲くコキアの赤き丘  
 時間止め置く錨付けたし  
 つれあひの使う針箱その中に  
 母の使ひし指貫きのあり  
 台風に耐えて残りし酔芙蓉  
 朝のしじまの美しき白  
 夏草に覆われし車庫に廃車見ゆ  
 シルバーマークの貼られしままに  
 水道も電気も通らぬ暗闇に  
 ローソク灯す食事は始めて  
 台風の被災のさなか名月を  
 見上げてこころしだいに鎮まる  
 遠近にブルーシート張る屋根見えて  
 季節外れの桜が咲きぬ

川口城司 推薦

大木 洋一  
 椎名 昭雄  
 古谷由美子  
 鈴木 和子  
 高橋百合子  
 依知川雅一  
 鈴木とも子  
 渡辺 重雄  
 大木 政子  
 石田 秀子  
 稲葉 雪子

## 俳句

高安せい子 推薦

藁一山差配の面構え  
 確かなる夫の手元や南瓜割る  
 秋霖や着信音の深々と  
 抽ずる水引草の真紅  
 素足にて急ぐ朝なり運動会  
 強風に倒れし樹にも帰り花  
 立礼の所作美しや文化祭  
 山間の熟れ柿目立つ過疎の村  
 山梔子の枯れて今年は揚羽来ず  
 ストレスを溜めず笑って医者通い  
 健康は金で買えない宝物  
 ワッハッハ一日二回高笑い  
 健康で暮らせる日々は最高だ  
 今日もまたテレビ体操スクワット  
 年金日孫のよいしょに乗せられる  
 夫婦して痛い所の数比べ

## 川柳

勝又康之 推薦

川口城司 推薦

最上 峻  
 椎名 晴江  
 大川 宣子  
 光瀬甲江子  
 安藤 建子  
 椎名 貴寿  
 伊藤 定子  
 須貝 玉枝  
 沖 舟二  
 江波戸京子  
 佐久間美智子  
 鶴澤 澄子  
 常世田やす子  
 岡田けい子  
 松野 敏昭  
 安藤 幸恵

## 力作募集中

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2  
 ☎73・0080 FAX72・1114

## 図書館だより

図書館ホームページはコチラ  
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…5日(木)・毎週月曜日 ●年末年始休館日…28日(土)～1月4日(土)  
 関八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

### ▶ 年末年始は、ゆったり読書

14日(土)～27日(金)は、一般書、雑誌は何冊でも借りることができます(DVD・CDは1人3点まで)。期間は3週間で、いつもより長く貸し出します。この機会を利用して、年末年始の休みに、読書でゆったりくつろぎませんか。

### ▶ 返却日をお守りください

資料の貸出期間は通常2週間です。貸出期限内に連絡をいただければ、予約のないものはさらに2週間延長ができます。

なお、相互協力で他の図書館から借り受けた資料は、連絡後1週間以内に受け取り、必ず2週間以内に返却をしてください。返却が遅れると、他の人がリクエスト資料を借りられない場合があります。

### ▶ 12月の「おはなし会」

#### ★八日市場図書館

14日(土)・21日(土) 14時から約30分間、7日(土)は14時から約45分間の「特別なおはなし会」です。

#### ★のさか図書館

22日(日) 10時30分からサンタさんも来る「クリスマス会」です。

## おすすめの本

### 『極夜行』

角幡唯介／著 文藝春秋

太陽が昇らない極夜の真の闇の中を、相棒の1頭の犬と行く、命がけの冒険の記録です。さまざまなアクシデントを乗り越えながら歩き続け、4か月後に見た本物の太陽とは一。

### 『子うさぎましろのお話』

佐々木たづ／文 三好碩也／絵 ポプラ社

サンタクロースのおじいさんから、一番先にプレゼントをもらった子ウサギ“ましろ”。もっと欲しくなって、別のウサギになりすまし、種をもらうのですが…。大人にも読んでいただきたい、クリスマスのお話です。